

**第Ⅳ部 計画の内容 【各論】****第1章 ライフステージに応じた子ども・若者の成長****4 子どもの教育環境****【現状・課題・今後の方針】**

今日、急速なグローバル化や人工知能（A I）の進化など、社会の加速度的な変化や技術革新により、将来の予測が困難な時代を迎えています。また、子育ての孤立化、家庭の経済状況から生じる困り、子どもの安全確保、教員の多忙化など、教育環境にかかわる課題が多様化・複雑化しています。

一方で、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指すSDGsの基礎は教育であるとも言われるように、教育の役割への期待が高まっています。

こうした現状と未来社会を見据え、本市では、京都に息づく、子どもを地域や社会の宝として大切に育む「はぐくみ文化」の下、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」本市教育の実践を一層推進し、よりよい学校教育を通じて、伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子どもの育成を目指します。

**(1) 学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力を育む教育の推進**

開かれた学校づくりの下、子どもたちに生まれ育った環境に左右されることなく、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を基盤として、地域や文化への誇りを培い、多様な文化や価値観を認め、互いに尊重し合い、共に助け合う態度を育成します。併せて多様な他者と協働しながら、主体的に課題を発見・解決できる持続可能な社会の担い手として必要な力を育みます。

**【主な取組】**

- ・ 学力向上に向けた取組の推進（小中一貫学習支援プログラム・少人数教育・未来型教育モデルの推進等）
- ・ 保護者、地域と進める小中一貫教育の充実・推進
- ・ 京都ならではの伝統文化教育や環境教育の推進
- ・ 子どもの規範意識を育む取組の推進（道徳教育・自然体験活動等）
- ・ いじめ・不登校の未然防止と早期発見・解決に向けた取組の推進
- ・ 食育・健康教育、体力向上の取組の推進
- ・ インクルーシブ教育の理念に基づく一人一人のニーズに応じた教育の推進
- ・ 社会的・職業的自立に向けた生き方探究教育の推進
- ・ 保幼小連携の推進
- ・ 市立高校の更なる改革推進と特色ある教育活動の推進
- ・ 多文化共生に向けた取組の推進（日本語指導等）

**(2) 新しい教育ニーズに応える持続可能で安心・安全な教育環境の整備**

(1)に掲げる施策を推進するために、先端技術の利活用の促進、安心・安全な学校施設の整備、持続可能な学校指導体制の整備など、良好で質の高い教育環境の実現を目指します。

学校施設については、子どもたちの学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティの拠点でもあり、災害時には避難所ともなります。多様化する教育活動に柔軟に対応するための教室の再整備やＩＣＴ環境の整備はもとより、環境に配慮のうえ、安全性を確保し、誰もが安心して活用できる施設環境の整備を図ります。

また、「教育は人なり」と言われるよう、高い志と意欲、確かな指導力を有する教員の存在は、子どもたちにとって最大の教育環境です。「学校・園の働き方改革」を保護者・地域のご理解のもとで推進し、教員一人一人が健康で心豊かな生活を送り、自らの人間性や資質・指導力を高め、やりがいを持って働くことで、子どもたちの豊かな学びを実現します。そして、これからも、教育に携わる素晴らしい魅力を感じ、熱意をもった有能な方々が教員を志す環境づくりを行います。

#### 【主な取組】

- ・ 京都市学校施設マネジメント計画に基づいた学校施設の安全確保、長寿命化改修や防災機能強化
- ・ 新しい教育内容に即した施設・設備充実等の推進
- ・ 地域との共渉で取り組む学校統合及び新しい学校づくり
- ・ 教員養成から採用、研修までの資質向上のための一体的な取組の推進
- ・ 教員が子どもと向き合うことができる環境づくりの推進（事務補助や専門的知識を有する外部人材の活用、ＩＣＴ活用等による効率的な研修推進など）